

The Sapporo Chamber of Commerce and Industry

# 会議所通信

当コーナーでは、当所が取り組むホットな事業をご紹介します。

## 11/27 道産食品付加価値向上セミナー・出前総合相談会

安心できる食の提供が求められる中、自社商品に「機能性」や「信頼」の付加価値を付けて消費者へ差別化を図ろうと、「道産食品付加価値向上セミナー」を開催した。

(株)アイ・エヌ・ジー代表取締役菅原耕治氏より「パッケージデザイン(製品の魅力をシンプルに伝える方法)」、「衛生管理と食品微生物」について、(株)キュー・アンド・シー代表取締役奥野和弘氏より「鮮度保持技術とHACCPの導入を」と二つのテーマで説明をいただいた。

## 11/30・12/1 平成二十四年度 札幌シテイガイド フォロワーアップ研修

札幌シテイガイド検定合格者を対象としたフォロワーアップ研修を今年も全五回の内容で実施した。

第四、五回は、観光ボランティアガイド希望者へ向けた「シテイガイドの入門講座」として、講師にNPO法人ねおすの理事荒井一洋氏を招き、ガイドの基本とされる「話の構成」「伝える技術」などを学んだ。

## 12/4 アジアビジネスサポート プログラム2012「菓子編」

道内企業の海外展開を支援する「アジアビジネスサポートプログラム」。今回は、香港に向けて「白たい焼」を輸出している北緯四十度のまち(株)(岩手県)代表取締役社長の魚住知也氏を講師に迎え、白たい焼開発秘話から



説明する魚住社長

ブームに至るまで、そして香港のバイヤーとの出会いや、その経営手腕など講話をいただいた。

## 12/5・6 環境新時代に突入！ 企業の成長・発展を支える「環境経営」セミナー

原発事故によるエネルギー問題などで、企業における従来にも増した環境対策が求められることから、環境経営をテーマとしたセミナーを開催した。

当日は、講師にあいおいニッセイ同和損保の古澤秀彦氏と、EQアシストオフィスの篠塚正一代表をお招きし、「環境マネジメントシステム エコアクション21」を活用した経営力の強化について説明いただいたほか、オリックス自動車の吉井学氏より、「環境関連設備・サービス導入の効果」を説明いただいた。

## 12/7 リサイクルの義務！ 容器包装リサイクル制度説明会・個別相談会

ガラス・びん・ペットボトルや紙製の容器・包装を利用する製造業、卸・小売業、輸入業者には「容器包装リサイクル法」により、包装材や、ペットボトルなどの削減義務が課せられている。

当所では、これら事業者に対して同制度の基礎知識と事務手続きなどについて、改めて理解を深めてもらうとうと、説明会を開催したほか、個別相談会を行った。

## 12/7 観光ボランティアガイドの会 中間活動報告会ならびに 十年会員表彰

当所観光ボランティアガイドの会の中間活動報告会ならびに十年会員表彰を開催した。

十年会員表彰対象者は三十二名。当日は、このうち二名が代表として、感謝状を受取った。

また、中間報告会では、観光案内所の増設や、団体旅行の案内など多くの観光客のおもてなしに貢献したこと、会の発足十周年を記念した市民向けイベントなど活発的に活動したこの一年を振り返った。

## 12/10 札幌の魅力伝える伝道師「札幌観光大使」視察・見学会、懇親会

主に札幌に赴任している支店長・支社長を中心に構成され、札幌の魅力



「アジアゾーン」視察の様子

道外へ広める伝道師として活動いただいている「札幌観光大使」を対象に視察・見学会を開催した。

円山動物園に、十二月に新設されたアジアの動物の生息環境を再現した「アジアゾーン」を見上雄一園長にご案内いただき視察。その後、すすきのへ会場を移し、懇親会を行った。

**12/10** 冬の節電呼びかけ  
携帯湯たんぼセッスを配布し  
街頭啓発を実施

今冬も、道内においては昨夏同様の節電が求められる中、当所では、札幌市と共同で今冬の節電を呼びかける街頭啓発を札幌駅前通地下歩行空間にて実施した。

当日は、携帯湯たんぼや携帯カイロなどのセッスを配布し、道行く市民に節電を呼びかけた。

**12/10** 北海道省エネ技術等導入普及啓発補助事業  
北海道らしい省エネ・節電対策セミナー

今冬の厳しい節電要請に対応するため、企業における、より効果的な節電対策について、セミナーを実施した。

当日は、札幌市環境局環境都市推進部の大平英人氏より札幌市の省エネに関する補助金の説明をいただいたほか、北海道ECOネットワーク代表の高橋克文氏より北海道らしい省エネ・節電について説明いただいた。

**12/13** 中国・瀋陽市政府駐日本経貿代表処  
総代表が表敬訪問

日本と瀋陽の経済や貿易交流を促進するための瀋陽政府の日本窓口である瀋陽市政府駐日本経貿代表処の総代表王晶瑩氏が、当所滝沢副会頭を表敬訪問した。



滝沢副会頭(左)と、王総代表

表敬で王総代表は「日中間の情勢が依然として厳しいが、北海道と瀋陽の友好を今後も深めていきたい」と述べた。

**12/13・14** アジア圏観光客おもてなし向上事業  
おもてなし力向上研修会

アジア各国の文化・習慣の理解を深め、接客力の向上に結びつけることを目的とした研修会(全四回のうち第一回と第二回)を開催した。第一回目は接遇マナー・教育研修コーディネーターの高瀬裕美氏より「日本のおもてなし」と思いやりの伝え方」について、第二回目は千歳アウトレットモール・レラ副支配人の鈴木靖彦氏より「レラの

海外客満足度アップ策I・S(インバウンド・サティスファクション)活動」について、札幌グランドホテル宿泊副支配人岡西昭子氏より「外国からのお客様をお迎えする心構え」について講話を交え、研修を行った。

**12/13** 感動感謝経営塾 特別講演会  
「感謝・感動・感涙経営ハローデーの経営理念とその実践」

不透明な時代の中にあっても、光り輝き成長している企業の共通点を学ぶ「感動感謝経営塾」を開催した。

今回は、日本一視察の多いスーパーと言われ、マスコミなどで多く取り上げられている㈱ハローデーの代表取締役社長加治敬通氏を招き、感謝の心を経営の軸に据えて「日本一働きたい会社」を目指しているハローデーの経営理念や人材育成について講話いただいた。



講演する加治社長

**12/14** 総合建設関連連部会・設備工事部会合同会議  
札幌市公契約条例に関する説明会

公契約条例は、既に全国の数都市で施行され、札幌市においても制定が計画されている。当所では、会員企業へのアンケートや関係諸会議にて意見を集約し、昨年一月に「入札制度などの諸制度の改善の上で、同条例の必要性を再検討すること」とした要望書を提出している。今回の会議では、要望書提出以降の当所の対応のほか、「低価格入札競争が十分に改善されていない中で賃金にのみ焦点が当てられ企業育成の視点に欠けている」などの市との見解の相違について説明した。

**12/19** 札商アジア・ブリッジ・プログラム  
今年度のカリキュラムが終了

外国人留学生を日本のビジネス現場で即戦力として活躍できる人材に育成し、地域での就職を促進する札商アジア・ブリッジ・プログラムは、今年六年目を迎え、十二月で今年度全四回のカリキュラムが終了した。参加した留学生二十三名は、日本企業で働く上で必要なマナーなどのほか、社会人・企業人・組織人としての「心構え」も学び、就職活動に挑む。